

仕 様 書

1 業務名

放射性炭素年代測定業務

2 遺跡所在地及び遺跡名

- (1) 札幌市西区二十四軒4条1丁目
N30遺跡（北海道教育委員会登載番号A-01-30）
- (2) 札幌市東区丘珠町
H37遺跡（北海道教育委員会登載番号A-01-37）
- (3) 札幌市西区八軒4条東5丁目
N434遺跡（北海道教育委員会登載番号A-01-434）

3 業務内容

有機質試料のAMS法による放射性炭素（ ^{14}C ）年代測定

4 業務期間

自：令和5年 1月30日
至：令和5年 3月24日

5 仕様

詳細別紙

6 成果品

年代測定報告書（デジタルデータでも納品）1式

7 測定方法等

- (1) 測定は、国際的な信頼が高く多くの研究実績を持つ機器を用いて行うこと。
- (2) 試料の取扱には細心の注意を払い、前処理の方法について事前に委託者と打合せを行った上で、試料毎に適切な前処理を確実に実施すること。
- (3) 報告書の作成にあたっては、一連の作業工程、前処理方法、試料作成方法、測定結果、分析機器、及び分析場所を明記すること。
- (4) 報告書には未補正放射性炭素年代、同位体分別補正放射性炭素年代及び使用した補正年代プログラムを必ず明記すること。なお、補正年代プログラムは〔“IntCAL 20 Northern Hemisphere Radiocarbon Age Calibration Curve(0-55 calkBP)” Reimer, P. J. et al. 2020, Radiocarbon 62(4), pp725-757〕を使用すること。
- (5) 暦年代の交点は、1シグマ(68%確率)及び2シグマ(95%確率)の両者を必ず明記すること。
- (6) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値を示すこと。

8 その他

- (1) 試料が測定に適さないとみなされる場合は、ただちに委託者に連絡し、委託者と協議の上、試料の代替を行うこと。
- (2) 試料及び報告書の輸送に伴う経費は、本業務内で受託者が負担すること。
- (3) 受託者は、本業務について、本仕様書または契約書に明示されていない事項についても、業務の性格上当然必要な準備、資料の作成等は、受託者の負担で実施すること。その他、本仕様書に定めのない事項は、委託者と協議すること。

仕様詳細

名 称	細 目	数量	単位	備 考
放射性炭素年代測定	加速器質量分析（AMS）法	25	点	N30遺跡 12点 H37遺跡 2点 N434遺跡 11点
報告書作成		1	式	

※試料等の輸送を含む。